

**使徒言行録3章11節～16節。**さて、その男がペトロとヨハネに付きまわっていると、民衆は皆非常に驚いて、「ソロモンの回廊」と呼ばれる所にいる彼らの方へ、一斉に集まって来た。これを見たペトロは、民衆に言った。「イスラエルの人たち、なぜこのことに驚くのですか。また、わたしたちがまるで自分の力や信心によって、この人を歩かせたかのように、なぜ、わたしたちを見つめるのですか。アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕イエスに栄光をお与えになりました。ところが、あなたがたはこのイエスを引き渡し、ピラトが釈放しようとして決めていたのに、その面前でこの方を拒みました。聖なる正しい方を拒んで、人殺しの男を赦すように要求したのです。あなたがたは、命への導き手である方を殺してしまいましたが、神はこの方を死者の中から復活させてくださいました。わたしたちは、このことの証人です。あなたがたの見て知っているこの人を、イエスの名が強くしました。それは、その名を信じる信仰によるものです。イエスによる信仰が、あなたがた一同の前でこの人を完全にいやしたのです。

ペトロが生まれながら足の不自由な男に「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」と宣言し、右手を取って起こすと、男は躍り上がって立ち、歩き出した。民衆は我を忘れるほど、驚いた。癒された男は喜び、ペトロとヨハネに付きまとい、3人は神殿の「ソロモンの回廊」と言われる所に来た。民衆も3人を追い、一斉に集まって来た。彼らは奇跡を行ったペトロに好奇と尊敬を込めた目を注いだ。これを見て、ペトロは「イスラエルの人たち、なぜこのことに驚くのですか。また、わたしたちがまるで自分の力や信心によって、この人を歩かせたかのように、なぜ、わたしたちを見つめるのですか」と、この男が立ち上がって歩いたのは、私たちの力や信心ではないと言っている。ペトロは主イエスの生涯と意味を語り始める。アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、私たちの先祖の神は、遣わされた主イエスに栄光をお与えになった。栄光は「神が今、ここにおられる」という神の現臨を意味する。主イエスは言葉と業において神の現臨を示された。ガリラヤで、貧しく苦難を強いられている人々に、彼らの生を是認する愛が注がれている神の恵みのリアリティを現された。人々は、神は生きて働いておられると「神の国」に生きる喜びを分かち合った。ところが、あなた方はこの主イエスを神殿当局に引き渡した。ローマの総督ピラトは主イエスを無罪と認め、釈放しようとして決めていた。そのピラトの決心を拒み、聖なる正しい主イエスを十字架につけ、人殺しの男バラバを釈放するように要求した。あなた方は、命への導き手である主イエスを殺してしまった。しかし、神はこの主イエスを死者の中から復活させてくださった。私たちは十字架の死から復活された主イエスを見た証人である。ペトロは主イエスの生涯を語り、復活の事実を力強く証言している。

そして、足の不自由な男に起こった出来事について語っている。主イエスの恵みが、人の施しにすぎっていたこの男を自分の足で立って歩く者にくださった。これは、主イエスの名を信じる信仰によるものである。主イエスに対する信仰が、あなた方一同の前でこの男を完全にいやし、立たせたのである。ペトロは自分たちの力や信心ではなく、復活した主イエスが彼に立ち上がる恵みをくださったと力説している。信仰は自分自身を表すことではなく、主イエスの恵みを現すことである。